



平成 23 年 度

吉川市水道事業会計決算審査意見書

吉川市監査委員

監 第 64 号

平成24年8月7日

吉川市長 戸張 胤茂 様

吉川市監査委員 大泉 将平

吉川市監査委員 山崎 勝他

平成23年度吉川市水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成23年度吉川市水道事業会計決算について審査をしたので、次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の年月日	1
第3	審査の手続	1
第4	審査の結果	1
第5	決算の概要	2
1	業務の実績	2
2	経営状況	3
3	財政状態	6
4	水道料金の収納状況	9
第6	むすび	10
決算審査資料1	損益計算書年度別比較表	11
決算審査資料2	貸借対照表年度別比較表	12

# 平成23年度吉川市水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の対象

平成23年度吉川市水道事業会計決算

## 第2 審査の年月日

平成24年6月25日（月）～8月3日（金）

## 第3 審査の手続

審査にあたっては、決算書類が関係法令に準拠して作成されているか、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを関係諸帳簿類と照合するとともに、関係職員から決算概要の説明を求めることにより審査を実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された決算書類は、いずれも地方公営企業法等関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と証拠書類との照合の結果計数は正確であり、平成23年度における経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

## 第5 決算の概要

### 1 業務の実績

#### (1) 給水状況

事 項		平成23年度	平成22年度	対前年度比較	
				増 減	比率 (%)
年度末給水人口 (人)		67,512	66,689	823	101.2
年度末給水戸数 (戸)		25,771	25,139	632	102.5
年度末給水 栓数(個)	家 庭 用	24,105	23,565	540	102.3
	営 業 用	865	846	19	102.2
	工 業 用	369	373	△ 4	98.9
	官 公 署 ・ 学 校 用	62	59	3	105.1
	臨 時 用	48	61	△ 13	78.7
	そ の 他	493	477	16	103.4
	計	25,942	25,381	561	102.2
配水量(m <sup>3</sup> )	年 間	7,495,360	7,652,501	△ 157,141	97.9
	1 か 月 平 均	624,613	637,708	△ 13,095	97.9
	1 日 平 均	20,479	20,965	△ 486	97.7
	1 日 最 大	23,570	23,480	90	100.4
	1 日 最 少	18,825	13,170	5,655	142.9
有収水量(m <sup>3</sup> )	年 間	6,994,848	7,079,437	△ 84,589	98.8
	1 か 月 平 均	582,904	589,953	△ 7,049	98.8
	1 日 平 均	19,112	19,396	△ 284	98.5
	1 人 1 日 平 均 (ℓ)	283	291	△ 8	97.3
有 収 率 (%)		93.32	92.51	0.81	—

※ 配水量：各浄水場から配水された水量の総計のこと。配水管の始点における流量（通過量）の合計をいう。

※ 有収水量：メーターで計量された水量又は需要者に到達したものと見られる水量を有効水量といい、有効水量のうち料金徴収の対象となった水量を有収水量という。

※ 有収率：年間総配水量に対する年間総有収水量の割合で、施設の稼動状況が収益につながっているかの指標である。低い場合は漏水、水量計の不感等の原因が考えられる。率は高いほど良い。

給水収益の増減の要因となる給水状況についてみると、給水人口は前年度に比べて823人増加し67,512人、給水戸数も632戸増加し25,771戸となっている。

また、有収率は93.32%で、前年度より0.81ポイント増加した。

## 2 経営状況

### (1) 収益的収支

(単位：円、消費税及び地方消費税抜き)

区分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
総収益	1,384,904,373	1,367,742,257	17,162,116	1.25
総費用	1,282,830,345	1,279,744,172	3,086,173	0.24
差引純利益	102,074,028	87,998,085	14,075,943	16.00

収益的収支（税抜き）は、総収益が13億8,490万4千円で、前年度に比べ1,716万2千円の収入増（1.25%）となった。一方で総費用については12億8,283万円で、前年度に比べ308万6千円の支出増（0.24%）となった。この結果、1億207万4千円の純利益（黒字）となった。

総収益が増となった主な理由は、その他の営業収益に計上されている加入者分担金の増加によるものである。

### (2) 供給単価と給水原価

(消費税及び地方消費税抜き)

区分	項目	平成23年度			H22	増減額
		金額(円) (A)	有収水量(m <sup>3</sup> ) (B)	単価及び 原価(円) (A)/(B)	単価及び 原価(円)	単価及び 原価(円)
供給単価	給水収益	1,172,616,241	6,994,848	167.64	169.41	△ 1.77
給水原価	原水及び浄水費	424,222,544	6,994,848	60.65	59.80	0.85
	配水及び給水費	93,513,122	6,994,848	13.37	12.13	1.24
	総係費	201,963,022	6,994,848	28.87	26.51	2.36
	減価償却費	431,279,119	6,994,848	61.66	59.84	1.82
	資産減耗費	24,927,679	6,994,848	3.56	4.22	△ 0.66
	支払利息	88,950,190	6,994,848	12.72	14.97	△ 2.25
	計	1,264,855,676	6,994,848	180.83	177.47	3.36

給水原価（有収水量1m<sup>3</sup>当たりの費用）と供給単価（有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益）の関係をみると、給水原価は前年度と比べ3円36銭増加し180円83銭、供給単価は前年度と比べ1円77銭減少し167円64銭であった。昨年度と同様に、給水原価が供給単価を上回る逆ざやが続いており、給水収益で必要な費用を賄っていない状況にある。なお、給水原価が供給単価を上回りながら収益的収支では黒字となっているのは、給水装置の新設時等に納付される加入者分担金を収益的収支に繰り入れているためである。

### (3) 費用構成

(消費税及び地方消費税抜き)

項目	種別	平成23年度		平成22年度		前年度対比
		総費用 (円)	費用構成比率 (%)	総費用 (円)	費用構成比率 (%)	増減額 (円)
人件費	給料	27,613,345	2.15	33,573,104	2.62	△ 5,959,759
	その他	29,695,457	2.32	38,204,100	2.99	△ 8,508,643
	計	57,308,802	4.47	71,777,204	5.61	△ 14,468,402
薬品費		7,448,630	0.58	9,272,529	0.72	△ 1,823,899
動力費		20,495,386	1.60	19,818,023	1.55	677,363
修繕費		42,040,003	3.28	39,727,552	3.10	2,312,451
受水費		404,106,073	31.50	399,362,604	31.21	4,743,469
減価償却費		431,279,119	33.62	423,662,964	33.10	7,616,155
資産減耗費		24,927,679	1.94	29,905,202	2.34	△ 4,977,523
支払利息		88,950,190	6.93	105,954,455	8.28	△ 17,004,265
その他		206,274,463	16.08	180,263,639	14.09	26,010,824
合計		1,282,830,345	100.00	1,279,744,172	100.00	3,086,173

費用構成比率をみると、減価償却費が33.62%と最も大きく、次いで受水費が31.50%となり、この2費目で65.12%を占めている。3番目は支払利息で6.93%、4番目は人件費で4.47%となっている。

#### (4) 経営分析

(単位：%)

分析項目		分析比率		増減	算式
		H23	H22		
経常収支比率		108.2	107.3	0.9	$(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$
料金収入に対する比率	企業債償還金	15.4	38.0	△ 22.6	企業債償還金 / 料金収入 × 100
	企業債利息	7.6	8.8	△ 1.2	企業債利息 / 料金収入 × 100
	企業債元利償還金	23.0	46.8	△ 23.8	企業債元利償還金 / 料金収入 × 100
負荷率		86.9	89.3	△ 2.4	一日平均配水量 / 一日最大配水量 × 100
施設利用率		62.1	76.5	△ 14.4	一日平均配水量 / 一日配水能力 × 100
最大稼働率		71.4	85.7	△ 14.3	一日最大配水量 / 一日配水能力 × 100

- ※ 経常収支比率：収益性の指標を表すもので、率が高いほど営業利益率が良好であることを示す。100%未満の場合は営業損失が生じていることを意味している。
- ※ 負荷率：施設が年間を通じて、有効に使用されているかをみる。
- ※ 施設利用率：数値が良ければ水道施設が効率的に運営されていることになる。
- ※ 最大稼働率：100%に近くなった場合は、配水能力を高めるため、改良工事計画や施設の拡張等が必要な状況となる。

経営分析比率を算出した結果をみると、経常収支比率は、108.2%で前年度に比べ0.9ポイント増加し、黒字であることを示している。

また、料金収入に対する企業債元利償還金の割合は、23.0%で前年度に比べ23.8ポイント減少している。

施設の効率性を示す負荷率、施設利用率、最大稼働率をみると、負荷率が86.9%で前年度に比べ2.4ポイント減少、施設利用率は62.1%で前年度に比べ14.4ポイント減少、最大稼働率は71.4%で前年度に比べ14.3ポイント減少した。



### 3 財政状態

#### (1) 資産・負債・資本

(単位：円・%、消費税及び地方消費税抜き)

区分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
資産総額	17,880,727,103	16,334,611,515	1,546,115,588	9.5
内訳				
固定資産	15,209,674,416	14,014,344,886	1,195,329,530	8.5
流動資産	2,671,052,687	2,320,266,629	350,786,058	15.1
負債総額	593,669,831	461,027,118	132,642,713	28.8
内訳				
固定負債	118,391,332	112,378,322	6,013,010	5.4
流動負債	475,278,499	348,648,796	126,629,703	36.3
資本総額	17,287,057,272	15,873,584,397	1,413,472,875	8.9
内訳				
資本金	5,908,183,781	5,050,573,916	857,609,865	17.0
剰余金	11,378,873,491	10,823,010,481	555,863,010	5.1

資産総額は、178億8,072万7千円で、前年度に比べ15億4,611万6千円（対前年度比9.5%）増加している。資産は、固定資産の152億967万4千円と流動資産の26億7,105万3千円で構成されており、固定資産の主なものとしては、構築物（121億6,449万3千円）、建物（12億9,796万2千円）、土地（10億4,184万9千円）が挙げられる。

流動資産の主なものとしては、現金預金（20億5,387万円）、未収金（6億1,169万4千円）が挙げられる。

また、負債総額は、5億9,367万円で、前年度に比べ1億3,264万3千円（対前年度比28.8%）増加している。負債は、固定負債の1億1,839万1千円と流動負債の4億7,527万8千円で構成されている。固定負債は、修繕引当金で1億1,839万1千円である。流動負債は、主なものとして、未払金（4億3,118万4千円）が挙げられる。

資本総額は、172億8,705万7千円で、前年度に比べ14億1,347万3千円（対前年度比8.9%）増加している。資本は、資本金の59億818万4千円と剰余金の113億7,887万3千円で構成されており、資本金は、自己資本金（20億5,628万1千円）と借入資本金（企業債38億5,190万3千円）であり、剰余金は、主なものとして工事負担金（62億8,703万1千円）、分担金（27億2,352万3千円）が挙げられる。

## (2) 流動比率と自己資本比率

(単位：%)

	平成23年度	平成22年度	増減	算式
流動比率	562.0	665.5	△ 103.5	流動資産／流動負債×100
自己資本比率	75.1	78.3	△ 3.2	(自己資本金+剰余金)／負債資本合計×100

※ 流動比率：短期債務に対応すべき流動資産が十分かどうかの率で、高いほど支払いの流動資産を有していることになる。200%以上であることが理想とされている。

※ 自己資本比率：自己資本が総資本に占める割合を示し、比率は大きいほどよく、企業体質の強弱と財務の安定を表す。

支払能力を示す流動比率は、562.0%で、前年度に比べ103.5ポイント減少した。

また、財政の長期健全性を示す自己資本比率は、75.1%で、前年度に比べ3.2ポイント減少した。

## (3) 資本的収支

(単位：円・%、消費税及び地方消費税込)

		平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
資本的 収支	資本的収入	1,606,320,473	1,000,300,085	606,020,388	60.6
	企業債	950,000,000	581,900,000	368,100,000	63.3
	国庫補助金	47,200,000	34,400,000	12,800,000	37.2
	分担金	56,621,250	39,453,750	17,167,500	43.5
	工事負担金	451,469,101	142,966,075	308,503,026	215.8
	固定資産売却代金	101,030,122	201,580,260	△ 100,550,138	△ 49.9
	資本的支出	2,011,694,714	1,166,995,480	844,699,234	72.4
建設改良費	1,831,306,494	711,560,287	1,119,746,207	157.4	
企業債償還金	180,388,220	455,435,193	△ 275,046,973	△ 60.4	
収支差引	△ 405,374,241	△ 166,695,395	△ 238,678,846	143.2	
補て ん財 源	当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	63,934,297	23,451,947	40,482,350	172.6
	過年度分損益勘定留保資金	253,441,859	43,247,238	210,194,621	486.0
	減債積立金	87,998,085	99,996,210	△ 11,998,125	△ 12.0
	計	405,374,241	166,695,395	238,678,846	143.2

資本的収支(税込)については、収入額は16億632万円で、前年度に比べ6億602万円(対前年度比60.6%)増加した。また、支出額は20億1,169万5千円で、前年度に比べ8億4,469万9千円(対前年度比72.4%)増加した。差引4億537万4千円の不足となり、不足分は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんされている。

資本的支出のうち、建設投資についてみると、建設改良費は18億3,130万6千円で、前年度に比べ11億1,974万6千円（対前年度比157.4%）増加した。

建設投資は、主に、配水管布設工事、石綿管布設替工事及び施設整備工事であり、契約額1,500万円以上の工事一覧は次のとおりである。

（単位：円、消費税及び地方消費税込み）

区 分	契 約 名	場 所	契 約 額
配水管布設 工事費	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-1工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	24,570,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-2工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	42,420,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-4工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	46,305,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-5工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	35,595,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-6工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	50,505,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-7工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	49,140,000
	武蔵野操車場跡地配水管（地区内）布設 工事〈23-9工区〉	武蔵野操車場跡地地区土 地区画整理地内	31,815,000
	吉川駅南地区φ500配水管布設工事（その 2）	吉川駅南特定土地区画整 理地内外	46,620,000
石綿管布設 替工事費	市道1-109号線外石綿管布設替工事	吉川市大字南広島地内	25,389,000
	市道1-305号線外石綿管布設替工事	吉川市大字上内川地内	33,327,000
	市道3-339号線石綿管布設替工事（2工 区）	吉川市大字飯島地内外	25,410,000
	市街化区域石綿管布設替工事（1工区）	吉川市吉川二丁目地内	38,220,000
	市街化区域石綿管布設替工事（2工区）	吉川市吉川二丁目地内	24,045,000
	市街化区域石綿管布設替工事（3工区）	吉川市吉川二丁目地内	27,195,000
舗装復旧工 事費	武蔵野操車場跡地配水管（地区外）舗装 復旧工事（その2）	吉川市大字高久地内外	25,200,000
	県道三郷松伏線舗装復旧工事	吉川市大字三輪野江地内 外	41,895,000
施設整備工 事費	中央監視室新築工事	吉川市大字会野谷496番地	258,300,000
	中央制御監視操作盤工事	吉川市大字会野谷496番地	274,680,000
	高圧電気設備更新工事	吉川市大字会野谷496番地	169,890,000
	4号配水ポンプ増設工事	吉川市大字会野谷496番地	55,450,500

#### 4 水道料金の収納状況

(単位：円、%)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	未収金	徴収率	過年度徴収率	
						H 2 2	H 2 1
現年度分	1,231,217,903	1,122,827,836	0	108,390,067	91.2%	91.4	91.3
過年度分	118,295,689	106,791,865	1,548,890	9,954,934	90.3%	89.9	89.7
合計	1,349,513,592	1,229,619,701	1,548,890	118,345,001	91.1%	91.2	91.1

※ 徴収率は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までとする。

水道料金の徴収率は、現年度分及び過年度分合計で、91.1%で前年度に比べ0.1ポイント下回った。

水道料金の徴収金のうち、平成24年3月分のほとんどは翌会計年度に算入されることから、他会計と同様に平成24年4月・5月に収納した平成23年度分の徴収金8,817万9千円（収入済額8,829万8千円 還付未済額 11万9千円）を加えた現年度分の実質収納率は98.4%である。

## 第6 むすび

経営状況については、総収益が13億8,490万4千円で、前年度に比べ1,716万2千円増加し、総費用が12億8,283万円で、前年度に比べ308万6千円増加した。その結果、1億207万4千円の純利益（黒字）となり、前年度に比べ1,407万6千円増加した。その主な理由は、加入者分担金が4,905万円増加したことによるものである。

また、収益性の指標である経常収支比率は、108.2%で前年度に比べ0.9ポイント増加し、一方、財政状態については、支払能力を示す流動比率が562.0%となり、前年度から103.5ポイント減少した。また、企業体質の強弱と財務の安定を表す自己資本比率については75.1%となり、前年度から3.2ポイント減少した。

平成23年度の経営状況及び財政状態は、前年度と比べ、企業債の増加などにより指標の悪化が見られるが、健全性が保たれている状況にある。

水道料金は、1 m<sup>3</sup>当たりの給水原価が供給単価を13円19銭上回る逆ざやの状況が継続しており、加入者分担金を営業収益に充てることで黒字を保っている状況である。しかしながら、持続的に安全・安心な水の提供を行うためにも、逆ざや解消に向けた検討を進めていただきたい。

また、会野谷浄水場施設更新事業や配水管布設工事、石綿管布設替工事などにより資本的支出が増加し、その財源としての企業債も増大した。今後の企業債償還が健全な経営の重しとならないよう適切な管理に努められたい。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の飛散による影響はいまだ収束しておらず、当市の水道においても安全な水の供給が強く求められている。継続的に放射性物質測定が行われているところであるが、様々な事態を想定し、不測の事態においても適切に対処し、安全・安心な水の提供を安定して行えるよう引き続き取り組みを要望する。

## 決算審査資料1 損益計算書年度別比較表

(単位：円・%、消費税及び地方消費税抜き)

項目	平成23年度		平成22年度		比較増減額	対前年度比較
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
<b>1 水道事業収益</b>	1,384,904,373	100.00	1,367,742,257	100.00	17,162,116	1.25
(1) 営業収益	1,378,119,894	99.51	1,361,638,416	99.55	16,481,478	1.21
ア 給水収益	1,172,616,241	84.67	1,199,342,340	87.69	△ 26,726,099	△ 2.23
イ 受託工事収益	8,764,875	0.63	18,356,625	1.34	△ 9,591,750	△ 52.25
ウ その他の営業収益	196,738,778	14.21	143,939,451	10.52	52,799,327	36.68
(2) 営業外収益	6,782,526	0.49	6,071,321	0.45	711,205	11.71
ア 受取利息	2,955,969	0.21	3,244,662	0.24	△ 288,693	△ 8.90
イ 雑収益	3,826,557	0.28	2,826,659	0.21	999,898	35.37
(3) 特別利益	1,953	0.00	32,520	0.00	△ 30,567	△ 93.99
ア 過年度損益修正益	1,860	0.00	31,500	0.00	△ 29,640	△ 94.10
イ その他特別利益	93	0.00	1,020	0.00	△ 927	△ 90.88
<b>2 水道事業費用</b>	1,282,830,345	100.00	1,279,744,172	100.00	3,086,173	0.24
(1) 営業費用	1,185,655,579	92.42	1,168,595,143	91.32	17,060,436	1.46
ア 原水及び浄水費	424,222,544	33.07	423,337,800	33.08	884,744	0.21
イ 配水及び給水費	93,513,122	7.29	85,892,929	6.71	7,620,193	8.87
ウ 受託工事費	9,750,000	0.76	18,130,000	1.42	△ 8,380,000	△ 46.22
エ 総係費	201,963,022	15.74	187,665,228	14.66	14,297,794	7.62
オ 減価償却費	431,279,119	33.62	423,662,964	33.11	7,616,155	1.80
カ 資産減耗費	24,927,679	1.94	29,905,202	2.34	△ 4,977,523	△ 16.64
キ その他営業費用	93	0.00	1,020	0.00	△ 927	△ 90.88
(2) 営業外費用	94,258,995	7.35	106,492,965	8.32	△ 12,233,970	△ 11.49
ア 支払利息	88,950,190	6.93	105,954,455	8.28	△ 17,004,265	△ 16.05
イ 有価証券償還損	105,000	0.01	110,410	0.01	△ 5,410	△ 4.90
ウ 雑支出	5,203,805	0.41	428,100	0.03	4,775,705	1,115.56
(3) 特別損失	2,915,771	0.23	4,656,064	0.36	△ 1,740,293	△ 37.38
ア 固定資産売却損	1,197,463	0.09	2,505,480	0.19	△ 1,308,017	△ 52.21
イ 過年度損益修正損	1,636,530	0.13	2,048,254	0.16	△ 411,724	△ 20.10
ウ その他特別損失	81,778	0.01	102,330	0.01	△ 20,552	△ 20.08
<b>当期純利益</b>	102,074,028	—	87,998,085	—	14,075,943	16.00

## 決算審査資料2 貸借対照表年度別比較表

(単位：円・%、消費税及び地方消費税抜き)

区分	借		方		前年度対比	
	平成23年度		平成22年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>1 固定資産</b>	15,209,674,416	85.06	14,014,344,886	85.80	1,195,329,530	8.53
(1) 有形固定資産	15,209,635,236	85.06	13,914,200,706	85.18	1,295,434,530	9.31
ア 土地	1,041,848,670	5.83	1,041,848,670	6.38	0	0.00
イ 建物	1,297,961,901	7.26	1,039,751,271	6.37	258,210,630	24.83
ウ 構築物	12,164,492,960	68.03	11,638,822,272	71.25	525,670,688	4.52
エ 機械及び装置	649,858,374	3.63	113,556,984	0.69	536,301,390	472.28
オ 車両運搬具	1,518,031	0.01	2,185,469	0.01	△ 667,438	△ 30.54
カ 工具器具及び備品	2,713,074	0.01	1,043,661	0.01	1,669,413	159.96
キ 建設仮勘定	51,242,226	0.29	76,992,379	0.47	△ 25,750,153	△ 33.45
(2) 無形固定資産	39,180	0.00	39,180	0.00	0	0.00
ア 電話加入権	39,180	0.00	39,180	0.00	0	0.00
(3) 投資	—	—	100,105,000	0.62	△ 100,105,000	皆減
ア 投資有価証券	—	—	100,105,000	0.62	△ 100,105,000	皆減
<b>2 流動資産</b>	2,671,052,687	14.94	2,320,266,629	14.20	350,786,058	15.12
(1) 現金預金	2,053,869,965	11.49	1,952,606,372	11.95	101,263,593	5.19
(2) 未収金	611,694,230	3.42	272,350,931	1.67	339,343,299	124.60
ア 水道料金未収金	118,345,001	0.66	118,460,964	0.73	△ 115,963	△ 0.10
イ その他未収金	493,349,229	2.76	153,889,967	0.94	339,459,262	220.59
(3) 貯蔵品	4,731,862	0.03	4,552,696	0.03	179,166	3.94
(4) 前払費用	756,630	0.00	756,630	0.00	0	0.00
(5) 前払金	—	—	90,000,000	0.55	△ 90,000,000	皆減
<b>資産合計</b>	17,880,727,103	100.00	16,334,611,515	100.00	1,546,115,588	9.47

(単位：円・%、消費税及び地方消費税抜き)

区分	貸		方		前年度対比	
	平成23年度		平成22年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>3 固定負債</b>	118,391,332	0.66	112,378,322	0.69	6,013,010	5.35
(1) 引当金	118,391,332	0.66	112,378,322	0.69	6,013,010	5.35
ア 修繕引当金	118,391,332	0.66	112,378,322	0.69	6,013,010	5.35
<b>4 流動負債</b>	475,278,499	2.66	348,648,796	2.13	126,629,703	36.32
(1) 未払金	431,184,447	2.41	309,204,295	1.89	121,980,152	39.45
(2) その他の流動負債	44,094,052	0.25	39,444,501	0.24	4,649,551	11.79
ア 仮受金	41,174,052	0.23	39,044,501	0.24	2,129,551	5.45
イ 預り保証金	2,920,000	0.02	400,000	0.00	2,520,000	630.00
<b>5 資本金</b>	5,908,183,781	33.04	5,050,573,916	30.92	857,609,865	16.98
(1) 自己資本金	2,056,281,063	11.50	1,968,282,978	12.05	87,998,085	4.47
(2) 借入資本金	3,851,902,718	21.54	3,082,290,938	18.87	769,611,780	24.97
ア 企業債	3,851,902,718	21.54	3,082,290,938	18.87	769,611,780	24.97
<b>6 剰余金</b>	11,378,873,491	63.64	10,823,010,481	66.26	555,863,010	5.14
(1) 資本剰余金	11,276,799,463	63.07	10,735,012,396	65.72	541,787,067	5.05
ア 分担金	2,723,522,930	15.23	2,669,597,930	16.34	53,925,000	2.02
イ 工事負担金	6,287,031,337	35.16	5,853,753,979	35.84	433,277,358	7.40
ウ 国庫補助金	511,426,829	2.86	464,226,829	2.84	47,200,000	10.17
エ 受贈財産評価額	1,754,818,367	9.82	1,747,433,658	10.70	7,384,709	0.42
(2) 利益剰余金	102,074,028	0.57	87,998,085	0.54	14,075,943	16.00
ア 減債積立金	0	0.00	0	0.00	0	—
イ 当年度未処分利益剰余金	102,074,028	0.57	87,998,085	0.54	14,075,943	16.00
<b>負債資本合計</b>	17,880,727,103	100.00	16,334,611,515	100.00	1,546,115,588	9.47

注：減債積立金及び当年度未処分利益剰余金の額は、剰余金処分後の額である。